

2024年

1月 ▶ 2月の星空


 プラネタリウム
100周年

この図は

1/ 1 ▶ 22時

1/15 ▶ 21時

2/ 1 ▶ 20時

2/15 ▶ 19時

頃の星空です。

(惑星の位置は 2月1日)

北

○1等星

●2等星

●3等星

●4等星以下

●星雲星団

☆惑星

東

西

南



© 松本零士／郡山市

郡山の日の出、日の入

月の満ち欠け

1/ 1	6:49	16:34
1/15	6:49	16:47
2/ 1	6:40	17:05
2/15	6:26	17:20

新月	1/11, 2/10
上弦	1/18, 2/17
満月	1/26, 2/24
下弦	1/ 4, 2/ 3

 ※上弦、下弦は半月です。
 ※天王星は肉眼では見えません。

1月・2月の主な天文現象

1/ 4	しぶんぎ座流星群極大
1/12	水星が西方最大離角
1/28	水星と火星が接近

冬の1等星のうちベテルギウスを除く6つの星で作られる六角形「冬のダイヤモンド」が南の空に昇り、冬の空を華々しく彩っています。1等星からそれぞれ冬の星座を辿ってみましょう。西側には木星もあり、きらめく星たちは見飽きることがありません。月や惑星たちにも注目です。月や惑星は毎日見える位置を変えていきますが、これにより他の天体や恒星との共演を見せることがあります。例えば、1月12日は明け方の東の空で水星が最大離角を迎え、この時、近くには明けの明星の金星が輝いています。1月9日にはそこに細い月も加わったり、1月28日には水星と火星がくっつくように並んだり明け方の空が賑やかになります。1月20日～21日は半月を過ぎた月がおうし座のすばる(M45)のそばを通ります。倍率の低い望遠鏡や双眼鏡を使うと両方を視野におさめることができるでしょう。2月5日は11時過ぎに東京や沖縄でさそり座のアンタレスが月に隠れますが、郡山では隠れる様子は見られません。しかし、明け方の空に昇るアンタレスと月がぎりぎりのところまで近づく様子は見応えがあります。そして、2月26日は月がしし座の後ろ足の膝の星(♂星)を隠します。これは東京から北海道まで広い地域で見られ、0時40分頃に月に隠され、1時35分頃に出てきます。派手さはありませんが、その時しか見ることができない天体たちの共演をぜひお楽しみください。

